

H14-03

次の対話は、条件と期限に関する学生AとBとの対話である。□部分に挿入する語句を下記語群の中から選択して対話を完成させた場合、**一度も使用されない語句の組合せとして最も適切なものは**、後記1から5までのうちどれか。ただし、一つの語句を複数回使用してもよい。

学生A：条件と期限とは、どこが違うの。例えば、事業が軌道にのったら返すという約束で、XがYから無償で住宅を提供してもらったときは、どう考えればいいの。

学生B：この約束は、YからXに対し□付の□がされたと考えるべきで、事業が軌道にのる見込みがなくなったら、XはYに住宅を返さなければならない。

学生A：でも、将来事業が軌道にのるかどうかは確実ではないから、YからXに対する□付の□がされたとみることもできるような気がするんだけど。

学生B：どちらの考え方でも、□場合にXがYに住宅を返さなければならない点は、同じだね。でも、君のように考えると、□場合を除き、Xが死亡したときは、Xの相続人が住宅の所有権を取得することになるよね。

語群：確定期限 不確定期限 解除条件 停止条件 使用貸借 贈与
事業の成功が確定した 事業の失敗が確定した

- 1 確定期限 停止条件 事業の失敗が確定した
- 2 不確定期限 停止条件 贈与 事業の成功が確定した
- 3 不確定期限 解除条件 事業の成功が確定した
- 4 確定期限 解除条件 使用貸借 事業の失敗が確定した
- 5 確定期限 解除条件 事業の成功が確定した